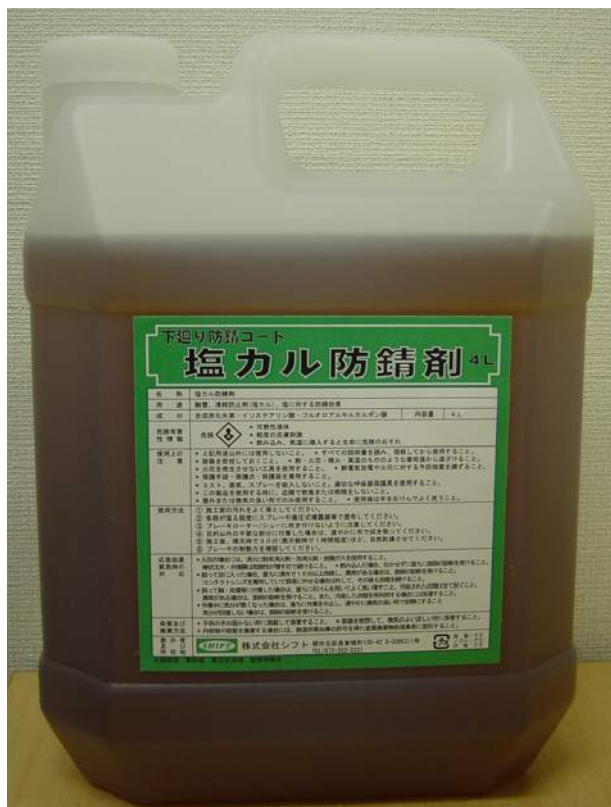


# 下廻り防錆コート

# 塩カル防錆剤<sub>4L</sub>

## 車両の下廻りを錆からガードする 透明コーティング剤



塩カル防錆剤は融雪剤や海岸沿いの潮風の塩分を原因とする錆の発生を防止すると共に錆の進行を防止する新しいタイプの防錆剤です。

簡単・短時間に施工ができ、  
車両下廻りやエンジンルーム内を  
錆から強力にガードします。

### 強力な防錆効果を持つ皮膜を形成

融雪剤の塩化カルシウムや潮風の塩化ナトリウムと反応して、無色透明な皮膜を形成します。  
錆の発生を防止する共に、腐食の進行を防ぎます。

### 車両下廻り全般をコーティング

- ①皮膜には粘性がありますので、可動部分（ドライブシャフト、プロペラシャフト）への施工が可能です。
- ②耐熱性も高いのでマフラーやラジエターなどの高温になる箇所でも効果を発揮します。
- ③無色透明な仕上がりで、アルミパーツ等にも目立つことなくコーティングを施せます。  
ホイールにも効果的です。

### 1回の施工で1シーズンOK

1回の施工で6ヶ月～1年間防錆効果が持続します。  
シーズン毎のおすすめや法定点検と連動したサービス展開が可能です。

### 施工時間が短時間

施工時間は蓄圧式噴霧器やスプレーガンを使用した場合は20～30分程度です。  
その後の乾燥時間も晴天時では30分程度です。



株式会社シフト



融雪剤・塩分を  
落とす **必要なし!**

融雪剤に含まれる<塩化カルシウム>や潮風の<塩化ナトリウム>と反応して防錆皮膜を形成する為、施工前に融雪剤や塩分を洗い流す必要はありません。

マスキングの  
**必要なし!**

無色透明で、ゴム部品に対する影響がない為、マスキングの必要がなく、すぐに塗布作業に取り掛かることができます。

他のコーティング剤と  
**併用可能!**

他のコーティング剤が施工されている場合も、その上から塗布ができ、施工されているコーティング剤をカバーして効果を高めます。

## 作業手順

### ①作業準備

○泥汚れ等ひどい汚れの部分のみ洗浄して下さい。

- ・下廻りが融雪剤で白くなっている場合は、そのまま作業して下さい。
- ・車両下部がひどく濡れている場合は、コンプレッサーのエアで吹くなどして簡単に乾かしてから作業して下さい。

### ②塗布作業

塗布部分が湿る程度(液が垂れない程度)に、スプレーや蓄圧式噴霧器等で塗布して下さい。ゴム部にかかっても問題ありませんが、ブレーキローター/シューに吹き付けないように注意して下さい。薬剤がかかった場合は<パーツクリーナー>等で洗浄して下さい。

また、ガラス面に付着した場合は白く曇りがでる場合があるので、ガラス面には施工しないで下さい。

### ③乾燥

コーティング後、晴天時で30分程(悪天候時は1時間以上)、自然乾燥させて下さい。

乾燥前に泥水等が付着した場合、十分な効果が得られない場合があります。

### ④確認

必ずブレーキの制動力の効き具合を確認して下さい。

## 塩害防止用製品比較表

	厚塗り樹脂系	ワックス・タール系	塩カル防錆剤
色	黒・白および車体色	ベージュ・タール色	透明
塗布機器	コンプレッサー&専用ガン	コンプレッサー&専用ガン	一般的なスプレーでも可能
マスキング(車両・作業場)	必要	必要	不要
作業時間(普通車)	約1時間	1時乾燥まで3日以上	30分
マフラー・ラジエターへの施工	不可	不可	可、効果大
ホイール	不可	不可	可
施工に対する熟練度	必要	専門的技術が必要	特に必要としない
防錆期間	1~2年	1~5年	半年~1年